

平成16年度事業報告書

平成16年4月1日から平成17年3月31日まで

1 事業の成果

平成16年度は農水省のバイオマスフロンティア推進事業と経産省の環境コミュニティビジネスモデル事業に採択され、さっそく地域密着型事業に取り組むことができました。バイオマスフロンティア推進事業では生ゴミを資源としてとらえ、環境コミュニティビジネスモデル事業では阿蘇の草原を資源としてとらえ、それぞれ利用の実現に向けた調査や実験に取り組みました。これらの事業によって、実際に地域でバイオマスを利用するための下準備が大きく前進し、活動3年目の平成17年度には、実験的にでも一部利用が実現できる見通しが立つようになりました。また、設立当初から力を入れてきた広報啓発事業も順調に活動を続け、NPO法人九州バイオマスフォーラムに対する周囲からの期待がさらに高まるようになりました。

2 事業の実施に関する事項

(1) 定非営利活動に係る事業

| | 定款の事業名 | | 事業内容 | 実施日時 | 実施場所 | 従事者の人数 | 受益対象者の範囲及び人数 | 支出額(千円) |
|---|-----------|----|--|-------------|-----------|--------|--------------|---------|
| ① | 地域モデル推進事業 | 計画 | 阿蘇の草原保全を目的とした草本系バイオマス利用についての検討会を開催する。 | 平成16年7月 | 公民館等 | 5人 | 20人 | 60 |
| | | 実績 | 草資源流通センター構想の座談会を白水村で開催。(新聞記事参照。) | 平成16年8月21日 | 白水村 | 5人 | 45人 | 419 |
| | | 実績 | 草資源流通センター構想について専門家を招いて検討会開催。 | 平成16年12月17日 | ゆたっと村 | 3人 | 15人 | 206 |
| | | 実績 | 「草をお金にかえるには？」草資源流通センター構想のシンポジウムを開催。阿蘇グリーンストック・九州東海大学と共催。 | 平成16年12月18日 | 九州東海大学農学部 | 5人 | 150人 | 227 |
| | 地域モデル推進事業 | 計画 | 阿蘇の草原に豊富に存在する草本系バイオマスの利用可能性調査を行う。 | 平成16年4月～7月 | 阿蘇郡 | 4人 | — | 300 |
| | | 実績 | 牧野組合・農家へのアンケート調査、文献調査を実施。 | 平成16年4～6月 | 阿蘇郡 | 2人 | — | 113 |

| | | | | | | | | |
|---|-----------|----|--|------------------|-------------------|----|------|-------|
| | | 実績 | 環境コミュニティビジネスモデル事業の一環として実施。 | 平成16年10月~平成17年2月 | 阿蘇郡 | 4人 | — | 1,050 |
| ② | 地域モデル推進事業 | 計画 | 阿蘇町における食品廃棄物のリサイクルプランを作成する。 | 平成16年5月~平成17年2月 | 阿蘇町 | 5人 | — | 2,230 |
| | | 実績 | 阿蘇町の食品廃棄物発生量調査を行い、阿蘇町の生ゴミからメタン発酵試験を行った。その結果を元にリサイクルプランを作成し、阿蘇市全戸にパンフレットを作成・配布した。 | 平成16年5月~平成17年3月 | 阿蘇町 | 5人 | — | 2,250 |
| | 広報啓発事業 | 計画 | 食用廃油を回収し、そのBDFを用いて発電実験を行う。その電気を夏祭りなどのイベントで利用してもらう。 | 平成16年8月 | 阿蘇郡 又は 熊本市内 | 3人 | 50人 | 30 |
| | | 実績 | 夏祭りやイベント等でBDFを用いて発電を行った。(新聞記事参照) | 8月~11月 | 白水村 阿蘇町 熊本市 | 5人 | — | 66 |
| | 広報啓発事業 | 計画 | 食品廃棄物リサイクルやメタン発酵の専門家を招いて講演会を開催する。 | 平成16年8月 | 阿蘇町 未来館 | 3人 | 100人 | 20 |
| | | 実績 | 長陽村公民館で、日本廃棄物学会、日本生物工学会と共催でセミナーを開催した。 | 平成16年8月7日 | 長陽村 公民館 | 3人 | 50人 | 40 |
| | | 実績 | NPO 法人伊万里はちがめプランの福田氏を招いて講演会を開催した。 | 平成16年10月9日 | 阿蘇町 未来館 | 2人 | 15人 | 25 |
| | 地域モデル推進事業 | 計画 | 阿蘇町の食品廃棄物の調査結果に基づき、食品廃棄物リサイクルについての検討会・講習会を開催する。 | 平成16年9月 | 阿蘇町 未来館 | 3人 | 40人 | 20 |
| | | 実績 | メタン発酵の展示実験や、ドイツのバイオエネルギー村についての事例紹介を行った。 | 平成17年2月17日 | 阿蘇町 未来館 | 3人 | 60人 | — |

| | | | | | | | | |
|---|--------|----|---|------------------------|------------------------|----|-----------------------|----|
| ③ | 広報啓発事業 | 計画 | 専門家や識者などを招いてバイオマスに関する講演会やパネルディスカッションなどを行うシンポジウムを開催する。 | 平成16年 秋～冬 | パレア・ 公民館等 | 3人 | 100人 | 30 |
| | | 実績 | 近畿バイオインダストリー振興会議とセミナーを共催。 | 平成16年 12月14 日 | パレア | 2人 | 50人 | — |
| | 広報啓発事業 | 計画 | ペレットストーブなどのバイオマス関連製品の展示会を開催する。 | 平成16年 11月 | セミナー・シン ポジウム 会場等 | 2人 | 会員および 一般参加者 に対し | 20 |
| | | 実績 | 開催せず | — | — | — | — | — |
| | 広報啓発事業 | 計画 | なし | — | — | — | — | — |
| | | 実績 | エコテクノ2004に出展し、環境コミュニティビジネスの事業についてパネル展示と講演を行った。 | 平成16年 10月 27-29日 | 北九州市 西日本総 合展示場 | 1人 | — | 23 |

(2) その他の事業 (収益事業)

| 定款の 事業名 | 事業内容 | 実施 日時 | 実施 場所 | 従事者の 人数 | 支出額 (千円) |
|--------------------|---|--------------|-------------|------------|-------------|
| バイオマス関連製品の 販売事業 | セミナーやシンポジウムの会場で、バイオマスに関する書籍や資料・バイオマスの関連製品等を展示・販売する。 | 随時 | セミナー 会場等 | 2人 | 80 |
| | 書籍の販売については実施できなかった。 | — | — | — | — |
| | 野草の販売を試験的に行った。 | 平成17年 3月～ | 阿蘇地域 | 1 | 140 |